

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	トータル・ベドラム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.530	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：トータルベドラム

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

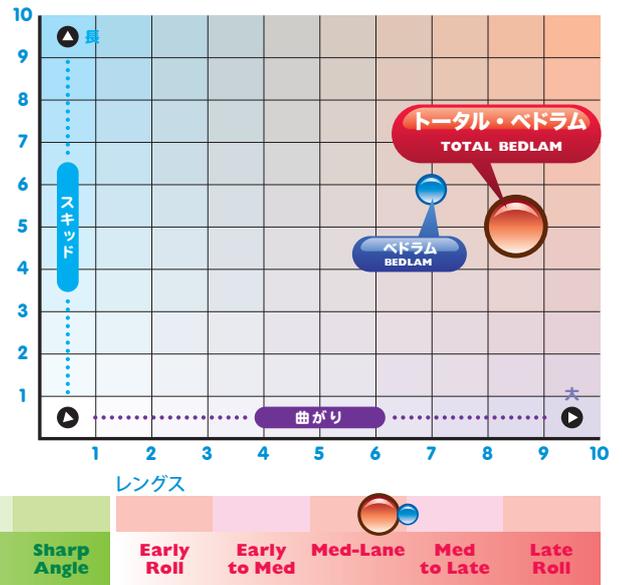
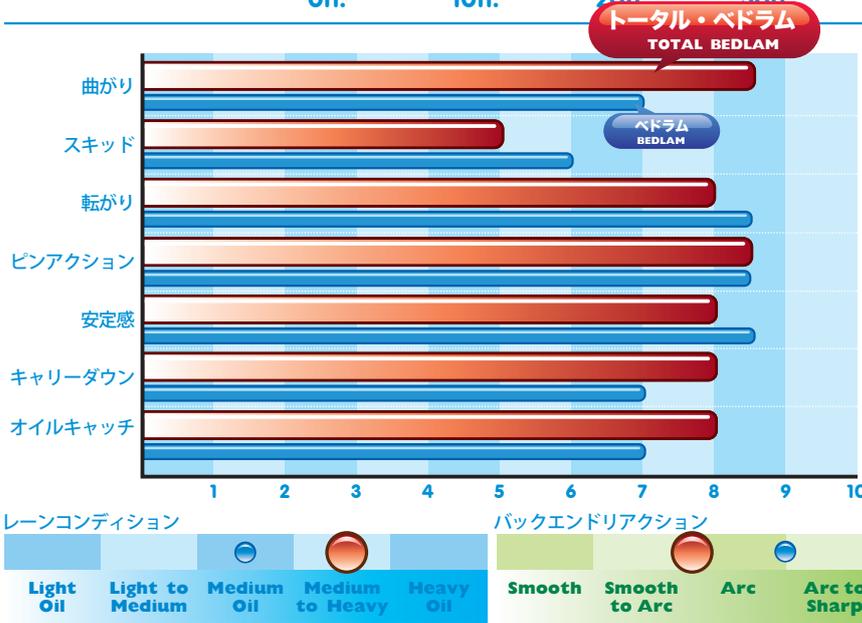
比較対照ボール：ベドラム

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

今回のTOTAL BEDLAMはFULL SWINGの上回るカバーストックのFull Tilt 6.0カバーストックを採用し、その強いカバーストックとのバランスを含め現行のBEDLAMコアの形状を変更。ウエイトブロックを追加して、特にバックエンドの”ねじれ感”を大きく強調させたスペックで登場致しました。カバーストックの数値の通り”6.0”という表記はスキッドに現われ、FULL SWINGよりも手前から曲がろうとはするのですが、今回コア形状を変えた事で曲がり始めを抑えられているのでしょうか、キャッチ力は感じるものの強調されるのはバックエンドリアクションです。特にこの6.0の強さを感じるの曲がり始めよりも”向きを変える”ところで、向きを変える瞬間”一度止まって見える”ような急激に角度を変える瞬間を見ることができます。ただ単にカバーストックを強くし、手前からガラガラと曲がるのではなく、バックエンドの瞬間にそのパワーを一気に変える事ができるコロンビア社の”技”が光ります。現行のBEDLAMはその部分がスムーズで扱いやすい部分もあったのですが、TOTAL BEDLAMでは過激になっており、ポケットへの入射角は”突き刺さる”感じさえ受けます。BEDLAMを使用して先が丸く感じた方や先での鋭い動きのほうがイメージがでるといタイプにはかなり魅力を感じるボールでもあり、大きく出し戻すラインを選択するタイプのボウラーにもかなり曲がり幅を取れるボールでもあります。ピンアクションも低く重く押し込む重厚なイメージで、”淡白さ”は感じられません。箱出しのままでも思うような曲がり得られない場合にはさらに表面加工は必要ですが、曲がり抑える為またはスキッド確保の為のポリッシュ加工より、箱出しかそれ以下の表面加工で使用する事をオススメ致します。

特記事項

BEDLAMのリアクションイメージを一新し、過激なリアクションで登場です。 Full Tilt 6.0カバーストックの強さと一気に向きを変え、ポケットへ突き刺さる重厚なリアクションを是非お試しください。